

● 2021年日本口腔衛生学会特別学術大会

“生涯28”を目指す歯科保健医療

九州大学大学院歯学研究院 山下 喜久
口腔予防医学分野 教授



この度は本学会特別学術大会を第24回日本歯科医学会学術大会と併催させていただき、日本歯科医学会会長住友雅人先生を始めとする歯科医学会の皆様へ深く感謝いたします。

本学会は、日本歯科医学会設立時の7つの専門分科会の一つとして歯科医学会の活動を支えることで、我が国の歯科医学の発展に貢献してきました。今では25を数える同専門分科会ですが、その多くの活動理念は疾病治療に軸足を置き、視線は患者に向けられています。一方で、我々の学会の理念は健康の維持向上にあり、疾病の有無に限らずすべての国民の健康を見守ることで国民の幸福を達成させることです。すなわち、保健活動を介してより良き社会の創造を目指すという他の歯科医学会組織にない大きな特徴があります。

平成30年の本学会総会では8020の概念を刷新すべく、「生涯28を達成できる社会の実現を目指す」を学会声明として採択し、本学会の特徴をより鮮明にしました。今回は、口腔マイクロバイーム、禁煙指導・支援、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジをキーワードとして、これからの口腔保健のあり方と歯科保健医療が、我が国の持続可能な発展に、いかに貢献できるかを考えたいと思います。